

国史跡

若杉山辰砂採掘遺跡

その山に丹あり



阿南市市民文化振興課

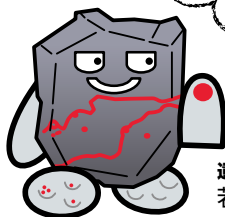
日本一古い、ここにしかない辰砂採掘遺跡

「其山丹有（其の山に丹有り）」と魏志倭人伝の中にも記された鉱物の辰砂。若杉山辰砂採掘遺跡は弥生時代終わりから古墳時代始め（1世紀～3世紀）にかけて、辰砂の採掘をしていた場所。その時代の辰砂採掘遺跡としては、全国で若杉山にしかない遺跡で、令和元年10月16日、国史跡に指定されたんだ。

○ 遺跡の場所



とうじ
当時の辰砂採掘の
内容を知ることがで
きる唯一の遺跡だよ！



遺跡ナビゲーター
若杉シンシャくん

阿南市西部の加茂谷地区水井町の山の中、へんろ道沿いの東斜面にある。阿南駅から車と歩きで1時間くらいかかるよ。



若杉シンシャくん……若杉山のチャート母岩から生まれた辰砂の妖精。体には那賀川と桑野川の流れに似た辰砂の脈が走る。赤い点は赤色顔料遺跡の位置を示す。手は石杵、足は石臼。不老長寿で意思は固い。

人の歴史に深く関わる鉱物 辰砂の一大産地だった

がんばん がんせき すじょう りゅう かたち み
岩盤や岩石に筋状・粒状の形で見られることが多い。



↑ 岩盤の割れ目に入り込んだ辰砂脈



← チャートという岩についた辰砂。



← 辰砂から作られた水銀朱

辰砂は透明感のある鮮やかな赤色の鉱物。日本では昔「丹」と呼ばれ、古くは縄文時代よりこの辰砂から「水銀朱」という赤色の顔料(= 絵の具)を作っていたよ。弥生時代の終わりごろ日本列島にあったとされる邪馬台国と、古代中国「魏」の間ではお互いの国で取れた辰砂を贈りあっていたんだ。

若杉山辰砂採掘遺跡から 発見された土器

弥生時代終わりから古墳時代始めのころ、つぼ・はち・かがわ・さんいん・きない・とくちょうや壺・鉢など。香川や山陰・畿内の特徴を持つ土器もあって、はるか昔から各地との交流があったと考えられているよ。

内面に朱がついたものもあるよ。水銀朱を入れていたみたいだね。



辰砂の下きかた……辰砂は活発な火山活動の際にできるよ。辰砂を含んだ地下水がマグマに熱せられて上昇して、岩石のひびや割れ目に入り込んで冷え固まることができるんだよ。

若杉山での辰砂採掘方法

ほうほう

弥生・古墳時代の鉱物獲得方法が
具体的にわかったのは初めてなんだ!

露天採掘

鉱脈をみつけて岩盤を叩き
割って採掘する方法

若杉山には、採掘によってでき
た4メートルを超える高さの露
天掘りの壁面が残っているよ。



石杵(いしぎね)

石器を使って採掘
したと考えられて
いるよ

採掘坑(坑道)掘

岩盤に鉱脈を追いかけてトンネ
ル状の横穴をあけ掘り進めて
採掘する方法



国内最古の坑道 (採掘坑跡)

平成30年度、阿南市が実施
した調査で、弥生時代終わり
頃には、すでに硬い岩盤に
穴を掘り採掘するという高度
な技術をもっていたことがわ
かったんだ。弥生時代のイメー
ジを考えなおさなきゃね。



採掘坑跡入口



採掘坑跡内部



坑内では
こんなものが
みつかったよ!

石杵



弥生土器のかげさ



国内最古の坑道……それまで国内最古の坑道は、山口県の長登銅山跡（8世紀）だと
されていたよ。それより500年も昔に作られた若杉山の採掘坑跡の発見は、全国的にニュー
スになって、大きな話題になったんだ。

ながのぼりどうざん

おお わだい

採掘した辰砂から水銀朱を作る



げんせき こま
原石を細かくたたきわる



さらに細かくつぶす



こなじょう
粉状になるまですりつぶす

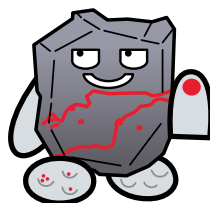


すいちゆう じゅんど たか
水中で純度の高い辰砂を
より分ける



かんせい
完成 !!

これまでの発掘調査から若杉山では③までの行程をしていることがわかったよ。



使われていた石器

石杵 那賀川の丸みのある河原石がほとんど。香川県の石も見つかっているよ。採掘にも同じ石が使われている。

石臼 この上で原石を叩いたりつぶしたりした台。叩かれすぎてたくさん“くぼみ”ができているね。



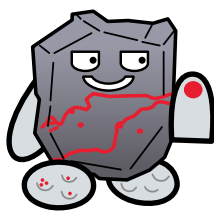
香川県の石があるのはどうして？……那賀川の石に比べて硬くて壊れにくく、採掘に使うために持ち込まれたと考えられているよ。当時から石の特徴の違いがちゃんとわかっていたんだね。

弥生～古墳時代 辰砂の特徴的な使われ方



死者を彩った水銀朱

この時代、死者の顔や棺に水銀朱を使って、死者を弔う儀式などを行っていたよ。



朱を死者の弔いに使う
風習は中国大陸から
伝わったみたい。

水銀朱の量が多いほど偉い人?!

当時、水銀朱はとても貴重で高価な顔料だった。儀式に使われた水銀朱の量が多いほど、埋葬された人の権力が強かったと考えられているよ。



朱色は神聖な色? ……朱色は血の色、太陽の色など生命を象徴する色として珍重されていて、中国や日本以外にも紀元前の時代から世界中で使われていたよ。

原始から現代まで、 形を変え、世界各地で使われてきた辰砂



■ 土器などの塗料

縄文時代には土器やアクセサリーなどの着色に使われていたよ（今でも岩絵の具として使われている）。弥生時代と違って絵の具としての利用が主だったよ。



■ 不老不死の薬？！

古代中国の皇帝は不老不死の薬として辰砂を飲んでたよ。実際は辰砂には強い毒性があるので、何人もの皇帝が命を落としたといわれているんだ。



■ 神社の鳥居の朱色

古代から神社の塗装に水銀朱が使われているよ。朱色のもつ魔除けの意味の他にも、辰砂は物を腐らせにくいので、木の鳥居を長持ちさせる役割もあったよ。

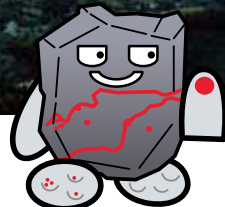


■ 現代の暮らしと辰砂(水銀)

辰砂は、殺菌作用があるので消毒液に利用されたり、辰砂から作られる水銀は昭和60年頃までは体温計にも使われていたんだ。今は健康と環境のため、水銀の取り扱いが規制されているよ。



辰砂の別名「賢者の石」……中世ヨーロッパでは金や銀を作り出すと信じられていた賢者の石。水銀を使えば賢者の石ができるとされていた。辰砂はその見た目や、いろいろな使われた方をしていたことから「賢者の石」と呼ばれるようになったんだ。



弥生時代から古墳時代、若杉山で採掘された貴重な辰砂が那賀川を下って、
全国各地の権力者の元へ運ばれていきました。時には遠く中国大陆にも…と
想像すると、はるか古の時代から、阿南は世界から注目された重要地域だった
たかも、と誇らしく思えてきませんか。

若杉山辰砂採掘遺跡は、私たちに誇りと元気を与えてくれます。

この遺跡を今後も大切に守り伝えていく。それを私たちの大きな役割として
いしましょう。

国史跡若杉山辰砂採掘遺跡「その山に丹あり」

発行日 令和2年10月17日

発行 阿南市市民部文化振興課

〒771-8501 徳島県阿南市富岡町トノ町12-3 電話0884-22-1798

編集 阿南市市民部文化振興課 向井公紀

印刷 太陽高速印刷株式会社（阿南市富岡町佃町）